

■総合計画の総括

平成18年12月に策定した総合計画は、厳しい社会情勢や市の財政状況を踏まえながら、「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざして」を将来像に掲げ、豊富な観光資源を活かし「交流」をキーワードにまちづくりを進めてきました。この間、角館小学校、神代小学校校舎建設、市内小中学校の耐震化、保育園の増築を進めるなど、将来の本市を担う子どもたちの教育環境を整備するとともに、市立角館総合病院建設に着手し、地域医療体制の充実を図ってきました。キーワードの「交流」では、国内外の各自治体をはじめ企業、大学との連携を推し進め、交流人口増加への取り組みを確実に推進してきました。

さらには、平成27年8月に地方創生・近未来特区の指定を受け、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進することが可能となり、地域経済の発展、産業振興等に大きく飛躍する環境を整えました。

こうした面から、新設合併しスタートした仙北市の将来像実現のために総合計画が果たしてきた役割は大きかったといえます。

■第2次総合計画の趣旨

平成17年の町村合併以降、「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市」として歴史を創ってきた仙北市は、その特性を活かし、時代の変化に柔軟に対応しつつ、課題を克服しながら、個性あふれる地方都市としてのモデルを国の内外に提示してきました。

また、平成26年度に実施したまちづくり市民アンケート調査結果をはじめ政策の検証により、今後、市が第2次総合計画策定に向けて重点的に取り組まなければならない人口減少や少子化、産業振興等の大きな課題も明確になっています。

こうした面から、平成37年度における「まちのすがた」を明らかにし、今後のまちづくりの目標や基本的な方向等を示す必要があるため、市民と行政が協働で取り組むまちづくりの基本的な指針となる第2次総合計画を策定します。

■第2次総合計画の構成と期間

●計画の構成

本計画は、「基本構想」及び「基本計画」と「実施計画」により構成します。

【基本構想】

基本構想は、まちづくりの基本理念とこれにより実現を旨とする仙北市の将来像を定め、市政運営の基本方針を示すものです。

【基本計画】

基本計画は、基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、各分野で取り組むべき施策の基本方向と施策の体系を明らかにするものです。

【実施計画】

実施計画は、基本計画で示した施策の方向性に従って、具体的な事業の内容を明らかにするものです。

●計画の期間

基本構想、基本計画の計画期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間とします。なお、基本計画はこの10年間で前期と後期の5年ずつに区分します。また、実施計画は、3年間の計画とし、ローリング方式により毎年度見直します。

■仙北市の目指すまちの基本理念と将来像

本市におけるまちづくりのテーマは、地域住民と行政の協働のもとで、地域の特性や機能を十分に発揮することにより、産業が活性化し、都市的機能や行政サービスの充実向上が図られ、一人ひとりが生活の豊かさを実感できる新都市の創造にあります。

まちと自然が調和し、機能を高めるとともにさまざまな交流活動の推進を図り、新しい魅力と活力を創造していくため、次の基本理念のもと、本市の特性をいかしたまちづくりを推進していきます。

まちづくり基本理念
健やかに美しく輝くまち

まちづくりの基本理念のもと、仙北市のまちづくりにおける目指す将来像を次のように設定します。

将来像
**「小さな国際文化都市」
～市民が創る誇りあるまち～**

—将来イメージ—

前総合計画の将来像「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざして」の考えを継承し、本市にある人材、自然、産業、生活、文化などさまざまな有形無形の素材を更に磨き上げることにより、国内はもとより国外から訪れる人々をも魅了するまちにステップアップしていこうという考えです。

それだけの素材は本市にふんだんにあり、自信を持ってその豊かさを大事にし、活用していくことが将来像の実現につながります。

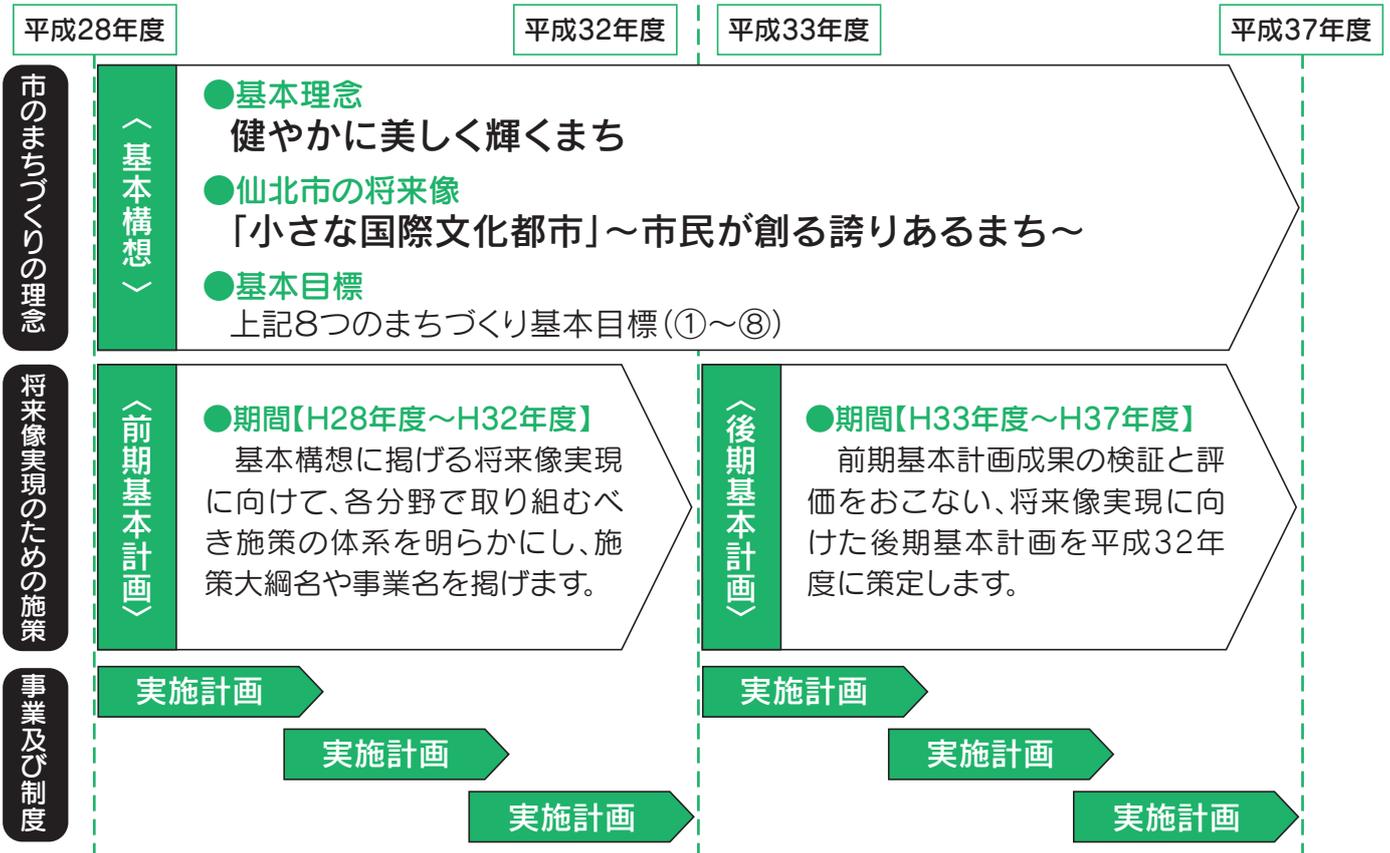
■基本目標・施策大綱（まちづくりの目標）

本市の将来像を実現するため、次の8つのまちづくり基本目標を施策の基本的方向とします。

また、総合的かつ計画的なまちづくりを行うため、各基本目標に基づく施策大綱を定め、事業の計画と実践を積極的に展開します。

- ① 創造性あふれる産業が息づくまち 《産業振興》
- ② 人が輝き安心して暮らせるまち 《生活安全》
- ③ 優しさにあふれ健やかに暮らせるまち 《健康福祉医療》
- ④ 自然と調和した潤いある暮らしを実感するまち 《環境土地利用》
- ⑤ 個性豊かな心を育むまち 《教育文化》
- ⑥ 誇りある暮らしをつなぐまち 《移住定住》
- ⑦ 新たに創るゆめのまち 《地方創生》
- ⑧ みんなが主役協働のまち 《住民参画交流》

■総合計画イメージ図（将来像実現に向けた計画の進め方）



■計画の特徴

前計画の趣旨を継承するとともに「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて人口減少の克服と地方創生を目的として策定した「仙北市総合戦略」との整合性を図り、まちづくりの目標(数値目標)を設定し、PDCAサイクル※により事業実施後の成果の検証と評価を実施し、改善につなげる工程を実施することとします。

※PDCAサイクル

Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(評価)⇒Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善していくこと。

